

石川県立こころの病院で診療を受ける（受けた）皆様へ  
—診療データの調査研究への使用のお願い—

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。本研究は、石川県立こころの病院の倫理委員会の審査に基づき、院長の許可を得て実施するものです。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、各研究の問い合わせ先にお問い合わせください。

1. 研究課題名	精神科入院患者における便秘の実態調査と超音波画像装置（エコー）を用いた看護ケアの検討
2. 対象患者	2024年2月5日～2028年3月31日の間に、当病院において、 <u>入院された方</u>
3. 研究期間	2024年2月5日～2028年3月31日
4. 研究代表者	氏名   高濱圭子   所属   石川県立看護大学
5. 研究の意義	精神科で治療を受けている患者さんは薬の影響で便秘になりやすいとされてきましたが、入院患者さん全体の調査はありませんでした。この研究は治療や看護の記録から便秘の状況を調べ、精神科入院中の患者さんの特徴を明らかにし、看護の方法を検討していきます。この研究は同じように精神科病棟に入院している患者さんに看護師が適した支援を行うときに大いに役立つと考えています。
6. 研究の目的	精神科病院入院患者の便秘の実態を明らかにします。
7. 研究の方法（使用する資料等）	診療録から以下の項目を調査します。 ①入院病棟②年齢③性別④入院期間⑤診断名⑥既往歴⑦イレウス既往の有・無⑧BMI⑨血液データ⑩日常生活自立度⑪食形態⑫食事量⑬便の性状⑭便の量⑮排泄の場所⑯オムツ使用の有・無⑰CSS(便秘重症度)⑱座薬・浣腸・摘便の回数/月⑲下剤処方の有・無 これらのデータを統計解析し、精神科入院患者の特徴を明らかにし、便秘の要因、予防、ケアの方法を検討します。
8. 個人情報の保護	データ収集後、速やかに個人情報を仮名加工情報に変換します。このことで特定の個人の識別ができなくなります。また、個人が特定されるような情報は一切公表いたしません。
9. 研究協力の任意性と撤回の自由	本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としないので、

	以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、石川県立看護大学倫理委員会において審査、承認され、研究科長の研究実施許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって治療・看護において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。
10. 利益相反に関する状況	研究者及び石川県立看護大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。
11. 問い合わせ先	石川県立大学看護大学精神看護学講座 高濱圭子 電話：076-281-8313
	石川県立こころの病院 看護部 坂上章 電話：076-281-1125